

(様式2)

平成29年度～平成38年度 社会福祉法人聖友ホーム 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人聖友ホーム		法人番号	4011305000201				
法人代表者氏名	理事長 西川祐子							
法人の主たる所在地	東京都杉並区阿佐谷北3-28-19							
連絡先	03-3338-1849							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	(地域公益事業の実施ではないため未開催)							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年11月10日							
評議員会の承認年月日	平成29年11月25日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	16か年度 (平成34年度末現在)	か年度目 (平成35年度末現在)	か年度目 (平成36年度末現在)	か年度目 (平成37年度末現在)	10か年度目 (平成38年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	110,590	110,590	110,590	0	0	0		0
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		0	0	▲110,590	0	0	▲110,590	
本計画の対象期間	平成29年度～平成38年度							

2. 事業計画

(千円)

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
16か年度目	乳児院・児童養護施設再建築事業① (計画・申請)	社会福祉事業	新規	乳児院・児童養護施設(養施設)合築による再建築計画策定	無	3,500
				設計入札、協議書提出、建築申請、競争入札実施	無	7,500
				小計		11,000
か年度目	乳児院・児童養護施設再建築事業② (第1期工事)	社会福祉事業	新規	施設設計	無	17,500
				第1期工事：旧養施設解体工事	有	36,140
				仮移転関連費用	有	67,950
				新本棟(合築)建設着手金	有	103,955
			小計		225,544	
か年	乳児院・児童養護施設再建築事業③	社会福祉	新規	第2期工事：新本棟建設工事	有	415,820

度目	(第2期工事)	事業		内装工事、内部設備・什器設置	有	129,944
				外構工事 着手金	有	3,000
小計						548,763
か年度目	乳児院・児童養護施設 再建築事業④ (第3期工事)	社会福祉 事業	新規	第3期工事：新本棟移転	有	24,093
				旧乳児院 解体工事	有	9,450
				新本棟 什器設備	有	16,500
				機能別棟 建設工事 着手金	有	34,652
小計						84,695
10か年度目	乳児院・児童養護施設 再建築事業⑥ (第4期工事)	社会福祉 事業	新規	第4期工事：外構工事、	有	12,000
				機能別棟 什器設備	有	26,815
				機能別棟 建設工事	有	138,607
小計						177,421
合計						1,047,425

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業 (小規模事業)	乳児院および児童養護施設の再建築事業プロジェクト
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

(千円)

事業名	事業費内訳	16か年	か年度目	か年度目	か年度目	10か年度目	合計
乳児院・ 児童養護施設 再建築事業	計画の実施期間に おける事業費合計	11,000	225,545	548,764	84,695	177,421	1,047,425
	社会福祉充実 残額	0	0	110,590	0	0	110,590
	補助金	0	0	27,519	240,000	92,194	359,713
	借入金	0	0	163,800	-163,800	45,000	45,000
	事業収益	0	0	0	0	0	0
	その他	11,000	225,545	246,855	8,494	40,228	532,122

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	社会福祉法人聖友ホーム（乳児院・児童養護施設）再建築プロジェクト
主な対象者	施設入所児童、職員、（地域住民も次年度以降検討）

想定される対象者数	乳児院 36名 児童養護施設 28名 (本所) 職員 110名 (グループホーム含む)																													
事業の実施地域	現施設敷地 (阿佐ヶ谷北)																													
事業の実施時期	平成29年6月21日～平成38年10月31日																													
事業内容	社会福祉法人聖友ホーム (乳児院・児童養護施設) の再建築 ○建築計画策定 ○児童養護施設 仮移転 ○児童養護施設解体工事 ○2施設合築 新本棟 建設工事 ○仮移転児童養護施設、乳児院 引越・入居 ○旧乳児院 解体工事 ○機能別棟 (親子生活訓練室、ショートステイ居室、職員宿舍等) 建設工事																													
事業の実施スケジュール	1 6か年	○調査、法人内・地域協議会等の合意形成、再建築計画立案 ○建替計画協議書提出、建築確認申請																												
	7か年度目	○創立100周年事業 (建設資金寄付キャンペーン実施) ○第1期工事: 児童養護施設 一時移転・解体工事開始																												
	8か年度目	○第2期工事: 新本棟建設 着工、内部設備・什器設置 新本棟 竣工																												
	9か年度目	○施設移転・新施設での稼働開始 ○第3期工事: 旧乳児院 解体工事																												
	10か年度目	○第4期工事: 機能別棟建設 着工、外構工事、園庭整備 機能別棟 竣工、再建築工事 完了																												
事業費積算 (概算)	<table border="0"> <tr> <td>□建設費小計</td> <td>909,792千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・調整費用</td> <td>3,500千円</td> <td>・設計費</td> <td>25,000千円</td> </tr> <tr> <td>・建物建設費</td> <td>693,033千円</td> <td>・什器・備品・外構</td> <td>188,258千円</td> </tr> <tr> <td>□建替諸費用小計</td> <td>137,633千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体費用</td> <td>60,233千円</td> <td>・仮設・移転賃貸料</td> <td>64,800千円</td> </tr> <tr> <td>・引越し費用</td> <td>12,600千</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="3">1,047,425千円 (うち社会福祉充実残額充当額110,590千円)</td> </tr> </table>		□建設費小計	909,792千円			・調整費用	3,500千円	・設計費	25,000千円	・建物建設費	693,033千円	・什器・備品・外構	188,258千円	□建替諸費用小計	137,633千円			解体費用	60,233千円	・仮設・移転賃貸料	64,800千円	・引越し費用	12,600千			合計	1,047,425千円 (うち社会福祉充実残額充当額110,590千円)		
□建設費小計	909,792千円																													
・調整費用	3,500千円	・設計費	25,000千円																											
・建物建設費	693,033千円	・什器・備品・外構	188,258千円																											
□建替諸費用小計	137,633千円																													
解体費用	60,233千円	・仮設・移転賃貸料	64,800千円																											
・引越し費用	12,600千																													
合計	1,047,425千円 (うち社会福祉充実残額充当額110,590千円)																													
地域協議会等の意見とその反映状況	地域交流スペースを含む詳細計画策定時には、地域協議会 (現在は設立準備中) と打合せを予定しております。																													

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

これまでの乳児院と児童養護施設を単純と踏襲した再建築ではなく、2施設の合築も含め、養護を必要とする児童、および地域社会に貢献できる施設とするべく、長期的視野で十分な検討・計画を行うため、また、建設費用の確保に向け、創立100周年に合わせ7年後の建築開始を想定しております。
 今回の社会福祉充実計画は、従来の形態の延長線上のものを暫定的に試算したものであり、次年度以降にじっくりと「新しい社会的養育ビジョン」に対応した計画として再考し、あらためて提出いたします。